

教育目標	校訓「気力・体力・学力」を基底とし、心身ともに健全でたくましい生徒の育成を目指す	
学校運営の柱	◎「羽咋中での全ての活動は、君たちの豊かな将来の生活や仕事につながる」を基本に、教科等における学びと社会とのつながりから自らの将来を展望し、学ぶ意欲を高めるキャリア教育を推進する。 ◎「時を守り、場を浄め、礼を正す」(森 信三)を学校生活の三原則とし、凡事徹底に努める。	
目指す姿 学校に関わる全ての人が【Well-being】に!	安心・安全な学校(学校像) ・生徒も教職員も、自ら進んで学び、業務に取り組む学校 ・家庭や地域から信頼される学校 ・生徒、保護者、教職員にとって安心・安全な学校	創造的でたくましく生きる生徒(生徒像) ・気力…他者を思いやる心と挑戦する心を持ち、最後まで粘り強くやり遂げる生徒 ・体力…体も心をも鍛え、心身ともに健康な生徒 ・学力…自己調整力を発揮する生徒
	信頼される教師(教師像) ・生徒に寄り添い、目配り、気配り、語りかけることができる教師 ・自己研鑽に励み、生徒とともに学び、成長する教師 ・生徒や保護者、地域から信頼される教師	学び合い、高め合う授業(授業像) ・課題に対する考えをもち、個人や集団で解決する授業 ・他者との関わりの中で、自らの変容を実感できる授業 ・学んだことを振り返り、新たな課題を見いだすことができる授業
今年度の重点	「当たり前の継続」と「常に学び続け『進化する・深化する』」 ・具体的で達成可能な目標を設定し、「何を」「いつ」「どのように」学ぶのかを明確にする。 ・目標達成のために学習計画を立て、実行する。 ・他者との関わりから常に自己分析し、ブラッシュアップする。 ・取組を振り返り、学びを確かなものにする。また、次への学びにつなぐ。 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">自己調整力</div>	
1. 学力の向上(令和の日本型学校教育の推進) ① 「学習者主体の授業」の充実 → 確かな学力の維持と向上 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す「羽咋中授業スタイル」の確立 ・必要感のある複線型授業を通して主体的に学ぶ生徒の育成と教師の授業改善・指導力向上 ② 効果的な ICT の活用と少人数授業等による個に寄り添った指導による確かな学力の定着 ・学びを深める手立てとしての ICT 機器の効果的活用と「HAKUISM DiVE3.0」を踏まえた授業の推進 ・基礎基本の確実な定着を図るための全学年計画的に実践する「基本タイム」の充実 2. 豊かな心の醸成(学校運営の柱の確実な実践) ① 学校生活全般における活動を「時を守り、場を浄め、礼を正す」実践の場とする。 ・「時間、掃除、挨拶」に向き合い、自己を見つめる心の教育の推進 ・授業、特別活動、生徒会(委員会)活動、学校行事をうまくつなぐことによる、生徒の主体性の伸長 ② キャリア教育の視点を生かした学習と様々な活動に自分事として関わる土台づくり ・教育活動全般においてキャリア教育とつなげる意図的、計画的な活動の推進 ・「羽トーク」による他者理解と寄り添う人間関係の構築 3. 保護者、地域のニーズに応えられる学校(地域基幹校としての信頼関係構築に向けた実践) ① 「生徒の人間としての確かな成長を目指す」という視点のもと、保護者と信頼関係を構築する。 ・「傾聴と対話」に重きを置き、生徒に寄り添い、かつ、挑戦を見守る指導 ・いじめ、不登校を生み出さない安心・安全な風土の中で、温かい集団づくりによる未然防止と初期対応 ② ワーク・ライフバランスと仕事の効率化の徹底 ・一人に仕事が偏らないよう業務の平準化と「チーム学校」としての組織運営・参画の意識 ・メリハリのある職場環境の推進		